

I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

2008年9月の米国大手証券会社 (1) (2) の破たんに端を発した世界金融危機は100年に一度の恐慌だと言われている。この発端は、比較的信用力の低い人向け住宅ローン、いわゆる (3) (4) がさまざまな金融商品に組み込まれて広く流通したこととされる。その背景には、1990年代以降、繁栄を謳歌した米国経済の存在が指摘される。好況維持のための金融緩和策によるカネ余りが地価を上昇させ、地価上昇を見込んで銀行がローンを提供し、それを証券化して投資家に売りさばく。今回の危機はこうした実体のない繁栄すなわちバブル経済の崩壊によってもたらされたのである。歴史をひも解くとこうした現象は今回が初めてではない。

17世紀のオランダ（ネーデルラント）で起きた「チューリップ・バブル」を見てみよう。16世紀のオランダは (5) (6) 業や中継貿易が盛んで、禁欲的な (7) (8) 主義の国として知られていた。当時オランダの支配者だったスペイン王（(a)）は、絶対王政のもとでオランダのカトリック化を強制した。これに反発した（(b)）が独立戦争を起こすと、オランダ北部7州はそれに呼応して1579年に (9) (10) を結び1581年には独立を宣言した。独立宣言後のオランダは (11) (12) を中心に商業と金融が栄えた。1602年には (13) (14) インド会社を設立してアジア貿易に乗り出し、17世紀前半にはオランダ黄金時代を迎えた。所得水準はヨーロッパで最高になり、禁欲の精神が薄れて国民は消費を楽しむようになった。チューリップ・バブルはこの絶頂期に発生した。チューリップは当時のオランダ人にとって豊かさの象徴だった。当初は富裕層の関心を引く珍しい品種の球根に高値がつく程度だったものが、次第に球根市場は一般の国民を巻き込んだ投機の対象となった。まだ土の中にある球根を事前に取り引する (15) (16) 取引も登場し、バブルはピークを迎える。しかし、1637年の春になるとバブルは急に破裂した。買い手は姿を消し、価格は暴落し、一攫千金を狙った中流以下の人たちが受けた打撃は最も大きかったとされる。

次の例は18世紀初頭、オランダに代わって覇権を握ったイギリスとフランスで相次いで起きたバブルである。当時は産業革命前夜にあたり、イギリスが「かつてないほど大胆になり、自信に満ちていた」（P.G.M. デイクソン『イングランドの金融革命』）時期ともいわれる。そのイギリスで起きた「南海泡沫事件」は、財政危機に陥ったイギリス政府が南海会社という企業に貿易の独占権を与えるかわりに大量の国債を引き受けさせたことに始まる。南海会社は国債を引き受けやすくするため、現在では違法となるさまざまな手法で株価を吊り上げ、バブルを引き起こした。これがいかに多くの人を巻き込んだかを示す例として、当時のイギリスの偉大な科学者で王立協会会長を務めた（(c)）までが南海会社株に手を出し、大損をしたという記録が残っている。結局、この「事件」はイギリス (17) (18) 党の政治家で事実上の初代首相を務めた（(d)）の手によって收拾され、事件の教訓として、公正な第三者による会計記録の評価が不可欠であることから、現在の (19) (20) による監査制度確立のきっかけとなったといわれる。他方、フランスでもこれと同時期にほぼ同様のプロセスで「ミシシッピ計画」といわれるバブルが起こる。ジョン・ローという人物がフランスの財政破たんを救うため、西方会社（ミシシッピ会社）を設立し、そこに広大な仏領 (21) (22) の事業独占権と当時フランスが支配地域を広げていた (23) (24) 諸島の貿易独占権を与える代わりに政府債務を肩代わりさせた。特権を与えられたミシシッピ会社には投資家の人気が集まり、株価は高騰したものの、調達資金は事業には充てられず政府債務の返済に使われていた。すなわち、株価の高騰はバブルだったのである。

そして近代史最大のバブル崩壊といえば、(25) (26) 年10月のウォール街での株価大暴落であろう。その背景にあるのは、第1次世界大戦の被害を受けず、ヨーロッパに代わって大きく発展を遂げたアメリカ経済の繁栄である。大暴落の前年、(e) 大統領は「国の状況を見る限り、現在ほど明るい希望に満ちたときに議会が招集された例はかつてないと言える。」と演説した。しかし、すでに20年代はじめてからフロリダの不動産価格が異常に上昇するなどバブルの兆候が見え始めていた。(27) (28) と呼ばれる10月24日、ニューヨーク市場で株価が大暴落し、瞬く間にそれが世界中に広まって世界恐慌を引き起こした。アメリカでは、1932年の工業生産指数が暴落前と比べて (29) (30) 程度にまで落ち込み、1933年には失業者が約 (31) (32) 万人に達した。こうしたなか、1933年に前職の（(f)）に代わって（(g)）が大統領に就任すると、これまでの自由放任主義からの政策転

換を打ち出した。具体的には、(33) (34) によって農民の生活安定を図り、(35) (36) で企業活動を制限し、(37) (38) に代表される大規模な公共事業を推進した。さらに、1935年には、(39) (40) 法によって労働者の権利を保護して労働組合活動を支援した。これら一連の政策は、(41) (42) と呼ばれている。

日本のバブルは1985年9月の(43) (44) 合意が出発点だったとされる。これは先進国の蔵相と中央銀行総裁がニューヨークに集まり、円高ドル安への協調介入について得た合意である。当時の日本の首相は中曽根康弘、米国大統領は(h) であった。合意の背景にあるのは、米国経済の後退と日本の台頭である。エズラ・ボーゲルの『ジャパン・アズ・ナンバー・ワン』が日米両国でベストセラーになったのもこのころである。日本の台頭を示す象徴的出来事は、米国の石油王が建設しニューヨークのシンボルともいわれる(45) (46) を三菱地所が買収したことだろう。実際、日本では高級車や高級マンションが飛ぶように売れ、多くの国民も「高度成長の再来」と浮かれていた。しかし、これは日本経済が米国経済を凌駕したからではなかった。日本では円高対策のため、金利が継続的に引き下げられた。こうした金融緩和策によって生じた過剰流動性が株価や不動産価格を高騰させバブルを引き起こしたのである。

このように、バブルの歴史を振り返れば、「歴史は繰り返す」のことがそのままたてはまることがよくわかるだろう。(i) そこにはまさにひとつの共通点が見出されるのである。

本問題文は、エドワード・チャンセラー『バブルの歴史』ならびに

ジョン・K・ガルブレイス『大暴落 1929』（ともに日経 BP）を参考に作成した。

問 1 文中の空欄 (1) (2) ～ (45) (46) にあてはまる最も適当な語句や数字を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (46) にマークしなさい。

- | | | | |
|-------------------|----------------------|----------------|---------------|
| 11 300 | 12 1300 | 13 3000 | 14 1923 |
| 15 1926 | 16 1929 | 17 AAA | 18 ABC |
| 19 ADA | 20 FRB | 21 NBER | 22 NIRA |
| 23 SEC | 24 TVA | 25 二分の一 | 26 三分の一 |
| 27 四分の一 | 28 アムステルダム | 29 アラスカ | 30 アントワープ |
| 31 暗黒の木曜日 | 32 暗黒の月曜日 | 33 暗黒の金曜日 | 34 インドシナ |
| 35 ウェストファリア条約 | 36 エンパイア・ステート・ビルディング | 37 オスロ | |
| 38 オートローン | 39 カルヴァン | 40 金融監督官 | 41 グラス・スティーガル |
| 42 毛織物 | 43 公認会計士 | 44 ゴールドマン・サックス | 45 サブプライムローン |
| 46 先物 | 47 現物 | 48 スヴァールバル | 49 スワップ |
| 50 鉄鋼業 | 51 トーリ | 52 西 | 53 西インド |
| 54 ニューディール | 55 ノンリコースローン | 56 東 | 57 ブレイディ |
| 58 ブラザ | 59 ブリュージュ | 60 弁理士 | 61 ホイッグ |
| 62 マニフェスト=ディスティニー | | 63 南 | 64 綿織物 |
| 65 モルガン・スタンレー | 66 モルッカ | 67 モンロードクトリン | 68 ユトレヒト条約 |
| 69 ユトレヒト同盟 | 70 リーマン・ブラザーズ | 71 ルイジアナ | 72 ルター |
| 73 ルーブル | 74 労働 | 75 ロックフェラーセンター | 76 ワグナー |
| 77 ワールド・トレード・センター | | | |

問 2 文中の (a) から (h) に当てはまる人名を解答用紙 B の所定の欄に記入しなさい。

問 3 文中下線部 (i) について、本文の内容を踏まえたうえで、解答用紙 B の所定の欄に 50 字以内で説明しなさい。ただし、「バブル経済は」から書き始め、「覇権」「傲慢」という 2 つの語を必ず用いること。

II. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

海は古来より陸と陸を隔てると同時に結びつける役割を果たしてきた。海を利用した交易は陸の交易に比べて様々な利点を持ち、インド洋をはじめとするアジア海域世界には (47) (48) 世紀以降本格化するヨーロッパ諸国進出以前から広大な交易圏が成立していた。

海を利用した遠隔地交易が可能になるためには、自然条件に加えて、航海に関連する技術の発達、交易品の生産地や積み出し港の政治的安定が重要になる。インド洋は季節風を利用した航海が可能であり、すでに (a) 紀元後 1 世紀ごろには東西世界を結ぶ海の道が成立していた。これにより、インドから地中海世界へは胡椒などの香辛料が、地中海世界からインドへは (49) (50), (51) (52), 金属細工が輸出された。

7 世紀以降における (b) イスラーム世界の成立は、東西の交易を一層盛んにした。8 世紀以降、(c) ムスリム商人はペルシア湾岸の港市を拠点にインド洋に進出し、その活動範囲は南シナ海まで達していた。この時代、広州など中国南部の港町にはムスリム居留地がつくられた。9 世紀後半に中国で起こった (53) (54) によりムスリム居留地は破壊され、一時期ムスリムは中国から撤退するが、(d) 宋の時代になると海運が一層重要になり、南シナ海の海上交易が再び盛んになった。この時代の海の道は、宋からの代表的な輸出品にちなんで (55) (56) とも呼ばれた。

13 世紀後半に南宋を滅ぼした元朝は、東西を結ぶ陸の道と同様、海の道を軍事的に統制しようとした。このため、ヴェトナムやジャワに大軍を送った。しかしヴェトナムでは敗退し、ジャワでも一度は (57) (58) 朝を崩壊に導くが最終的にはジャワ軍に撃退され、これを契機としてジャワでは (59) (60) 王国が成立した。

明は 14 世紀後半から海禁政策をとったが、15 世紀のはじめ、(61) (62) はムスリムの宦官、(e) 鄭和を東南アジアやインド洋沿岸各地に派遣した。しかし (61) (62) の死後、明の対外政策が消極的になったため、鄭和の海の統制政策は長続きしなかった。

イスラーム世界ではアッバース朝の成立以降、バグダードを中心とする海上交易、陸上交易が発達していたが、9 世紀後半から各地で事実上の独立王朝が成立し、政治的に不安定な状態が続いた。それにともない、イスラーム世界の中心が、バグダードからエジプトに移動した。これにより、(f) インド洋と地中海を結ぶ交易ルートもペルシア湾から紅海へと変化した。

東南アジアはインドと中国を結ぶ海路の中継地であるとともに、陸上交通が不便で海や河川の道による結びつきが強く、早くから水運を柱とした国家が形成されてきた。その代表例として、7～14 世紀にかけてスマトラ島のパレンバンを中心にした港市国家連合である (63) (64), 11 世紀に成立し、雲南とベンガル湾を結ぶ交易で繁栄した (65) (66) 朝があげられる。インド洋に進出したムスリムの影響により、13 世紀にはスマトラ島北部からイスラーム化が始まった。特にマラッカ王国は中国との朝貢貿易を行う一方、国王がイスラームに改宗してムスリムとの関係を深めた。このため、マラッカは中国商人がもたらす絹や陶磁器、ムスリムがもたらす香辛料、宝石、鉄、ジャワの商人がもたらす (67) (68) 諸島の香辛料により海上交易の中心のひとつとなった。

東アフリカ沿岸では、8 世紀からムスリム商人が来航し、12 世紀までにマリンディ、(69) (70), (71) (72) などの港市国家にムスリム居留地が成立した。その結果、(g) バントゥー系文化とイスラーム文化の融合が見られるようになった。

問 1 文中の空欄 (47) (48) ～ (71) (72) にあてはまる最も適当な語句や数字を下記の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (47) ～ (72) にマークしなさい。

- | | | | |
|------------|----------|------------|--------------|
| 11 十四 | 12 十六 | 13 十八 | 14 アチェ |
| 15 アユタヤ | 16 アンダマン | 17 永楽帝 | 18 ガラス |
| 19 絹織物 | 20 キルワ | 21 金貨 | 22 紅巾の乱 |
| 23 黄巾の乱 | 24 黄巢の乱 | 25 洪武帝 | 26 香料の道 |
| 27 小麦 | 28 塩の道 | 29 シャイレンドラ | 30 シュリーヴィジャヤ |
| 31 ジョホール | 32 シンガサリ | 33 ジンバブエ | 34 正統帝 |
| 35 象牙 | 36 チャンパー | 37 唐辛子 | 38 陶磁の道 |
| 39 トンブクトゥ | 40 パサイ | 41 パガン | 42 バンテン |
| 43 ポンディシェリ | 44 マーシャル | 45 マジャパヒト | 46 マタラム |
| 47 マラケシュ | 48 モルッカ | 49 モンバサ | |

問 2 下線部 (a)～(g) について以下の設問 (1)～(7) に答えなさい。ただし、解答はすべて解答用紙 B の所定の欄に記入すること。

- (1) 下線部 (a) について、後 1 世紀にエジプトで書かれ、インド沿岸やアフリカ東岸について詳しい記述がある書物の名前を解答欄に記入しなさい。
- (2) 下線部 (b) について、イスラーム世界の成立とほぼ同時に中国で起こり、結果として東西交易を盛んにした政治的出来事は何か、10 字以内で説明しなさい。
- (3) 下線部 (c) について、インド洋で主に西アジアのムスリム商人に利用されていた船の名前を解答欄に記入しなさい。
- (4) 下線部 (d) について、この時代中国で海運が重要になった理由を 20 字以内で説明しなさい。
- (5) 下線部 (e) について、鄭和による遠征は明への朝貢を促すこと以外にどのような目的があったのかを 15 字以内で解答欄に記入しなさい。
- (6) 下線部 (f) について、アイユーブ朝とマムルーク朝において、インド商人とイタリア商人の間で香辛料取引の仲介を行うことで利益を上げたムスリム商人集団は何と呼ばれているか、解答欄に 5 文字で記入しなさい。
- (7) 下線部 (g) について、バントゥー系文化とイスラーム文化の融合により成立した文化を何と呼ぶか、解答欄に記入しなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

塩の確保は古くから人間にとって重要な課題であった。古代文明の中心地の多くは内陸部にあるため、製塩には海水以外の供給源も必要とした。メソポタミアの^(a) シュメール人は、ウルや (73) (74) などの都市の近隣にある塩水湖を活用したとされる。中国の^(b) 殷や周でも塩水湖が利用され、さらに内陸の四川盆地では、地中深く掘って得た塩水を、同じく地中から得た天然ガスで煮詰める製塩法が、前漢代には用いられていた。

こうした工夫にもかかわらず、塩の産地は限られているため、その生産や販売を掌握する勢力は大きな収入を得ている。中世のヴェネチア商人は近隣の潟で採れる塩の輸出をおこない、やがては地中海各地で購入した塩の貿易によって収益を上げている。北ヨーロッパでは塩漬けニシンの消費が増加するのに伴い、ドイツ北部のリューネブルク産の塩の利用が拡大した。その輸出で大きな利益を上げたのが (75) (76) 同盟の盟主とされるリューベックである。さらに塩の需要が高まると、フランスやポルトガル産の塩を安価に供給するネーデルラント商人の役割が大きくなった。^(c) ヤゲウォ（ヤゲロー）朝のポーランド王国では、首都である (77) (78) 近郊の岩塩鉱脈を利用した製塩がおこなわれており、その輸出は同国に大きな利益をもたらしている。現在のオーストリアにあるザルツブルクは、音楽家 (79) (80) を輩出した芸術活動の盛んな町として知られるが、その活動を支えたのが近郊の塩水泉がもたらす塩であった。

塩の産地が勢力間の抗争に関与することもある。ザルツブルクは17世紀初めに、その塩の輸出をめぐって近隣のバイエルン公国との間に塩戦争をおこしている。ネーデルラント北部7州（オランダ）は、^(d) スペインと対立したために、ポルトガルの塩が輸入できなくなった。その打開策として監視がゆるいカリブ海まで採塩に遠征したことが、オランダの新大陸進出のきっかけとなった。ポーランドの岩塩鉱脈は、30年戦争を契機にバルト海の大部分を掌握した (81) (82) によって17世紀半ばに占領され、さらに第1次ポーランド分割によって、(83) (84) が統治するオーストリアの支配下におかれた。

塩は財政収入源としても重要であり、とくに軍事費を捻出するために利用されやすい。フランスではアンジュー伯が^(e) 両シチリア王国（ノルマン＝シチリア王国）への出兵の頃に塩税を導入し、国王フィリップ6世も百年戦争の際に塩税を設定している。中国では前漢の (85) (86) 帝の時代に、^(f) 外征等に伴う ^(g) 財政難の解決策として専売制が導入された。唐代には、8世紀半ばの (87) (88) の乱の際に、書家としても著名な官僚である (89) (90) が一部地域で専売を導入し、その後この制度は全国に拡大した。日本では、日露戦争の際に専売制が導入されている。

しかし、塩の専売や課税には弊害もある。前漢では、専売の是非を巡り論争がおき、国家の役割も含めて幅広い内容が討議された。実際、専売や課税は塩の価格高騰や流通停滞を招き、密売や庶民の不満を増加させることがある。唐代末には塩の密売業者であった (91) (92) などが反乱をおこしている。インドではイギリス東インド会社によって塩の専売制が導入され、^(h) シパーヒーの反乱を契機にイギリス本国政府による直接統治が始まった後も、この制度は維持された。(93) (94) はこれに抗議して⁽ⁱ⁾ 「塩の行進」を実施した。

18世紀以降は岩塩の採掘技術が向上し、塩の生産量は飛躍的に伸びた。同時に、岩塩や塩水についての化学的な知識も、質量保存の法則を確立した (95) (96) などの努力によって進歩し、ソーダ工業の原料などの新たな利用法に注目が集まった。現在では、食用よりもこうした工業的な利用が主流となっている。

問 1 文中の空欄 (73) (74) ～ (95) (96) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (73) ～ (96) にマークしなさい。

11 安史	12 ウルク	13 永嘉	14 エカチェリーナ 2 世
15 王仙芝	16 欧陽脩	17 カルマル	18 桓
19 顔真卿	20 ガンディー	21 孔穎達	22 クラクフ
23 光武	24 呉道玄	25 シドン	26 ジンナー
27 スウェーデン	28 赤眉	29 ダンチヒ	30 ネルー
31 ハットウシャ	32 バッハ	33 ハンザ	34 武
35 フリードリヒ 2 世	36 プロイセン	37 ベートーベン	38 ボズナン
39 マリア=テレジア	40 モーツァルト	41 ラヴォワジェ	42 ラプラス
43 李思訓	44 リンネ	45 ロシア	46 ロンバルディア

問 2 下線部 (a) および (b) について、以下の (97)～(99) の各文はシュメール人について、(100)～(102) の各文は殷や周の都市について記したものである。それぞれの文の内容が正しい場合には 1 を、間違っている場合には 2 を、解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (97) ～ (102) にマークしなさい。

- (97) シュメール人は、甲骨文字を発明した。
- (98) シュメール人の王ハンムラビは、同害復讐の原則を重視した。
- (99) シュメール人の都市国家は、ヒッタイトによって征服された。
- (100) 殷墟からは、多数の木簡が出土している。
- (101) 西周の首都であった鎬京の近くには、秦の首都である咸陽が建設された。
- (102) 東周の首都である洛邑は、異民族である犬戎によって攻略された。

問 3 下線部 (c)～(i) について、以下の設問 (1)～(7) に答え、解答用紙 B の所定の欄に記しなさい。

- (1) 下線部 (c) について、この時期にポーランドと同君連合を形成していた国の名前を答えなさい。
- (2) 下線部 (d) について、オランダがスペインと対立すると、ポルトガルの塩が獲得できなくなるのはなぜか。その理由を 20 字以内で答えなさい。
- (3) 下線部 (e) について、両シチリア王国は、シチリア王国とイタリア半島南部の王国にやがて分裂した。このイタリア半島南部の王国の名前を答えなさい。
- (4) 下線部 (f) について、この外征の対象となった騎馬遊牧民の名前を漢字 2 字で答えなさい。
- (5) 下線部 (g) について、この皇帝が専売制以外に導入した経済統制策のいずれかひとつを漢字 3 字で答えなさい。ただし 3 文字目は「法」であること。また、その統制策の内容を 25 字以内で述べなさい。
- (6) 下線部 (h) について、シパーヒーとは何を指す言葉か、7 字以内で述べなさい。
- (7) 下線部 (i) に関連して、インドの民族運動を指導する国民会議派は、1906 年にコルカタ大会で 4 綱領を決議して対英抵抗運動の強化を図っている。この 4 綱領には、スワデシ、スワラジに加えて何があるか。残りの 2 つをそれぞれ漢字 4 字で答えなさい。

平成 22(2010)年度 商学部 問題補足説明

教科・科目	補足説明
世界史	<p>p.5 II 問 1</p> <ul style="list-style-type: none">・ (49) (50) と (51) (52) は順不同。・ (69) (70) と (71) (72) は順不同。